

# 月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

## 6月の活動予定

6月1日(火) 第一例会

6月5or6日(土 or 日) 神奈山

CL:

6月18・19日(金・土) 女峰山(前泊)

CL:

## 7月の活動予定

7月6日(火) 第一例会

7月2・3日(金・土) 甲斐駒ヶ岳

CL:

7月17・18日(土・日) 将棋頭山

CL:

7月24or25日(土 or 日) 火打山

CL:

## 会費納入について

今年度の会費を下記口座までお振込みください。  
 八十二銀行  
 普通預金  
 山岳クラブホワイトバーチ長野  
 会員：6000円  
 会友：2000円

## 5月の活動報告

5月4日(火) 大遠見山

天気:晴れ

参加者:

コロナの緊急事態宣言が首都圏・関西に発令された事もあり、計画の奥大日岳を中止し県内山行(大遠見山:遠見尾根)に変更。スキーシーズンの最後で5月5日までリフトが運行されているので、ゴンドラとリフトを利用し遠見尾根の登山口へ。連休は天候が不安定であったが、今日だけは天候良好で登山者もそれなりにいるようだけれど、隣の八方尾根のような混雑はない。登山口から見返り坂・二ノ背髪へと急登を登ると五竜岳が見えてくる。二ノ背髪から小遠見山まではほぼ平坦。小遠見山からは鹿島槍ヶ岳も見える。ら今日の登山者は小遠見山までの往復か、ここから先へ行く者は少なくなり静かな尾根歩きだ。正面に五竜岳、左手に鹿島槍ヶ岳。

中遠見山まで来ると2018年に氷河に認定されたカクネ里

がよく見える。カクネ里は平地から望むことができないので、カクネ里全体が手に取るように見られて大満足で写真を撮りまくる。中遠見山から大遠見山までの間は大きな雪庇を眺めながらアップダウンのある細尾根歩きだ。急登を登り切ると広々とした大遠見山山頂だ。五竜・鹿島槍ヶ岳が更に大きく迫りアルプスを実感。山行前に神保さんに購入してもらったスノーソーの切れ味を試すため、昼食用のベンチを作ることに。想像以上に便利で15分程度で4人が座るベンチ完成。積雪期のテント泊には必携と納得。帰りのゴンドラの時刻もあるので、早めに下山開始。下山時はスキー場のゲレンデを横切るのので少し注意。長い遠見尾根のほぼ中間にある大遠見山までの山行でしたが、迫力の五竜、鹿島槍ヶ岳・カクネ里と見所満載の山行でした。



鹿島槍を尻目にスノーソーの切れ味を試す



ベンチ完成



長野 6:30—登山口 9:05—小遠見山 10:30/10:40—大遠見山 11:50/13:00—登山口 14:53 ゴンドラ乗車 15:23

## 5月9日(日) ロープワーク研修

大町運動公園 人工壁

参加者:

山岳センターの人工壁で神保さんよりロープワークの指導を受ける。初めて山岳センターの人工壁を見た。その高さ、角度。いつもおとなしめの登山をしている私にとっては「おおー！」でした。

物見の練習では、時間に制限があつて、じっくりと聞くことができなかつた事を教えていただく。各部の名称、基本的な道具の扱い方、用具のセットの仕方を学んだ。その後、二人で登坂するさいの流れ。その都度必要となる作業。安全の取り方。実際に用具を使って動いてみると手順の流れ、どこでどのように安全について考えていくべきか理解できたような気がする。

でも、頭の中はすでに情報があふれて、教えてもらった事が溢れそうだ。

フリクションで第二安全を確保しながら懸垂下降。自己脱出。確保している最中にミュールとオーバーハンドノットを作って作業を停止する方法など。

バックアップを取った懸垂下降など、実際にテンションをかけて止まってみることで、どの動作でブレーキがかかっているのか実感することができ、納得できた。

いっぱい教えていただいたし、基礎の基礎であるだろうが、

老化した脳は容量がいっぱいになってしまい復讐が必須と思われれます。この感想を書いている最中も出てこない用語があり情けないかぎりです。

どの場面でも、安全をどう考えて、この方法を選ぶのか、またそれ

を間違えずに実行できるのかが重要だと思いました。ありがとうございました。

